

棚卸し管理オプション 紹介資料



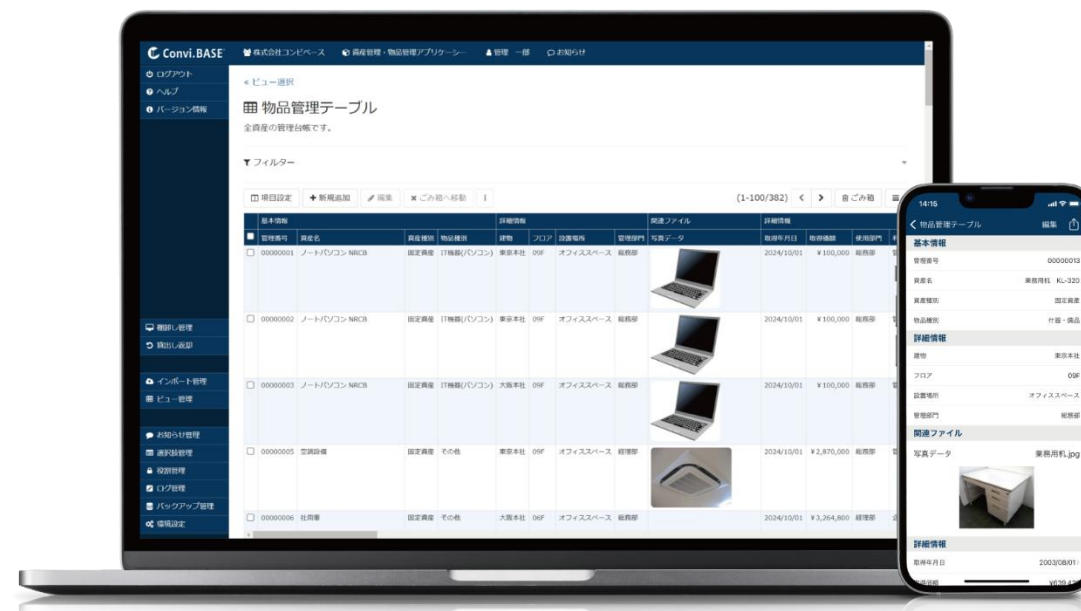
Convi.BASE (コンビベース) とは

Convi.BASE (コンビベース) とは、社内のあらゆる物品を適正に管理・運用するためのクラウドサービスです。

「面倒な棚卸しを楽にしたい」「物品の紛失を防ぎたい」「監査対応を強化したい」など、管理対象を問わず、あらゆる物品管理の「困った」を解決します。

サービスの提供開始から20年を超え、おかげさまで導入実績 No.1※の物品管理システムとなりました。

- ✓ あらゆる物品に合わせた管理項目を自由に設定できるクラウド台帳
- ✓ QRコードやICタグ等の管理ラベルを現物に貼付して台帳と紐づけ
- ✓ スマホで管理ラベルをスキャンし、棚卸し・貸出し・移動・点検・在庫数量などの物品管理業務を効率化



※ 日本マーケティングリサーチ機構調べ(2025年1月期実績調査)

管理者のお悩み

1. 毎回、Excelリストの切り貼りなどで、棚卸し対象を絞り込むのに時間がかかる
2. 全拠点の結果回収に何日もかかり、手集計による台帳と「実態のズレ」の調査に追われる
3. 監査や上層部への報告前に、「物品の紛失や台帳の記入漏れがないか」毎年不安がある



現場担当者のお悩み

1. 分厚い台帳や大量の紙のリストを持って、現場を歩き回るのが大変
2. 手書きメモや目視チェックのせいで、書き間違いや見落としがどうしても多発する
3. 通常業務が忙しい現場から、「やり方がわからない」「時間がない」と不満が出る



「棚卸し管理オプション」で、棚卸し業務はどう変わる？

棚卸し業務を効率化して現場の負担を減らすだけでなく、「いつ、誰が、どこで確認したか」の証跡が自動で残るため、監査や社内報告にも慌てずに対応できるようになります。

POINT 01

準備から集計までの全体工数を最大90%カット

「準備・現物確認・集計」という棚卸しの一連の業務をシステム化することで、これまでかかっていた膨大な工数を70～90%削減します。

POINT 02

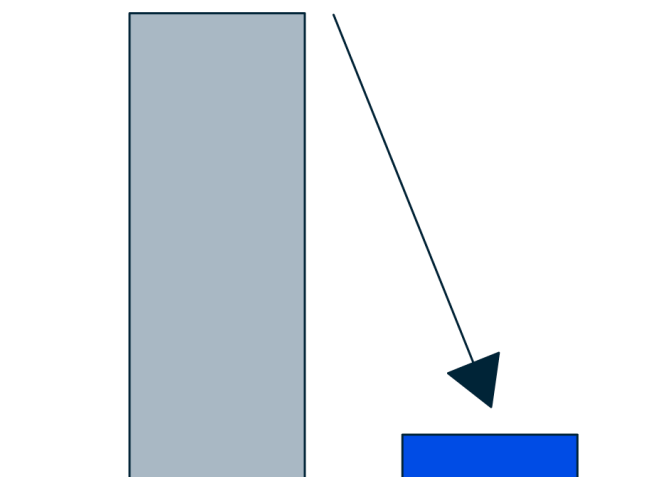
管理ラベルのスクリーンで手書きミスや見落としを解消

一番の手間である「現物確認」は、使い慣れたスマホで管理ラベルをスクリーンするだけ。書き間違いや見落としをなくし、棚卸しの精度向上や不正防止にもつながります。

POINT 03

監査・報告にも慌てない信頼性の高い実施履歴

「誰が」「いつ」「どこ」の棚卸しをしたかが自動で記録されるため、そのまま監査の補助資料として提出できる、信頼性の高い履歴が残ります。

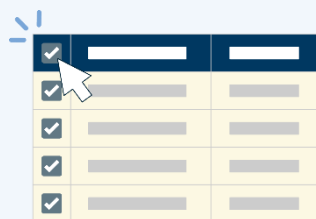


棚卸し工数を **70～90%** 削減

「棚卸し管理オプション」で解決できる3つのこと

01

ボタン操作で 棚卸し対象をリスト化



これまでの課題

どの物品が今回の棚卸し対象か、Excelを切り貼りしてリストを作るのが大変。

Convi.BASEの解決策

棚卸し結果を集計するフォルダ(棚卸しイベント)を作成し、物品一覧から対象を選択するだけ。ビュー(子台帳)で表示条件を設定すれば、部門や拠点ごとの表示も可能です。

02

スマホでピッとするだけの 簡単・確実な棚卸し



これまでの課題

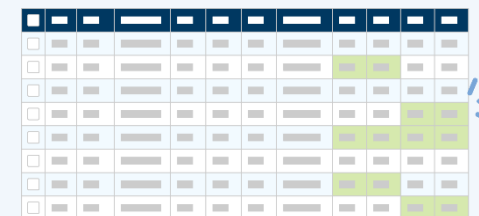
紙のリストをもとに1点ずつ手書きでチェックするため、書き間違いや見落とし、人による精度のバラつきが発生する。

Convi.BASEの解決策

お手持ちのスマホに棚卸しアプリを入れるだけ。実施場所と実施担当者を選んで管理ラベルをスキャンするだけなので、どなたでも直感的にミスなく業務を行えます。

03

リアルタイムで 結果を自動集計



これまでの課題

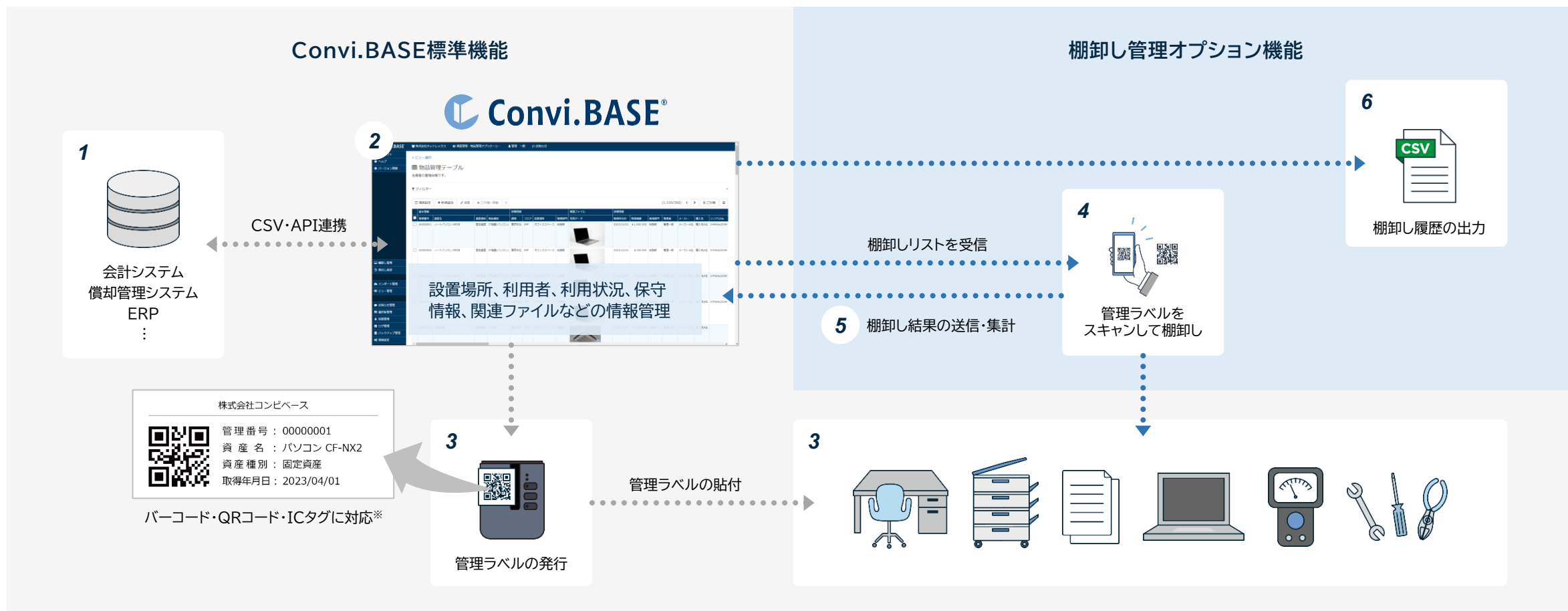
全拠点の紙やExcelを回収し、手作業で集計・突き合わせをするのに何日もかかっている。

Convi.BASEの解決策

スマホからデータを送信すれば、即座に自動集計。「誰が」「いつ」「どこの」棚卸しをしたかが記録され、台帳と実態のズレが緑色にハイライト表示されます。



在庫数量の棚卸しは「数量管理オプション」のご契約が必要です。
詳細はお問い合わせください。



会計システム等とCSV・API連携
して、物品情報をインポート

設置場所、利用状況、利用者、関
連ファイルなどの、必要な情報を
追加登録

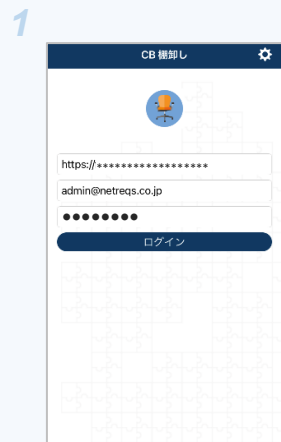
管理ラベルを発行して物品に貼
付し、台帳と現物を紐づけ

棚卸しリストをモバイルアプリ
「CB 棚卸し」で受信し、「実施場
所」「棚卸し担当者」を設定して管
理ラベルをスキャン

スキャン結果を送信して、「誰が」
「いつ」「どこで」棚卸したかを
実施前の情報と突合

棚卸し結果は世代ごとに記録さ
れ、必要に応じてCSVエクスポ
ートが可能

現場での棚卸し手順 (iOS・Androidアプリ)



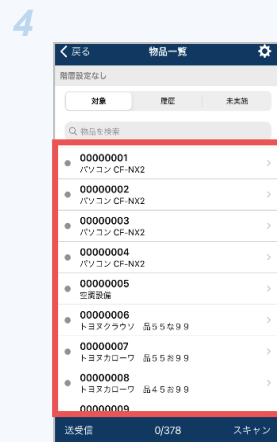
モバイルアプリ「CB 棚卸し」を起動してログイン



管理台帳をタップ



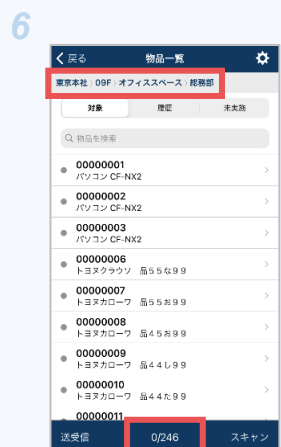
棚卸しデータを受信



棚卸し対象リストが表示される



棚卸し階層(実施場所)・担当者を入力
(例)東京本社/09F/オフィススペース/総務部/担当者A

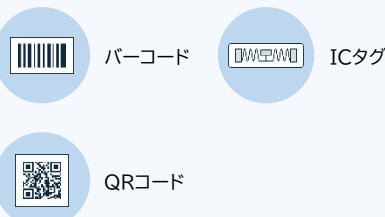


5で指定した階層にある物品が絞り込まれる



棚卸し対象の管理ラベルをスキャン

対応コード



※AndroidアプリはQRコードのみ対応。
※ICタグのスキャンはiOSデバイスとBluetooth接続する専用のRFIDハンディリーダーが必要です。



スキャン結果が履歴に蓄積される



棚卸しデータを送信して完了

棚卸し結果の集計

送信した棚卸し結果は自動集計され、棚卸し前の情報と棚卸し結果を突合して表示します。

Convi.BASE

株式会社ネットレックス

資産管理・物品管理アプリケーション

管理 一郎

お知らせ

ログアウト

ヘルプ

バージョン情報

棚卸し実施状況

棚卸し実施状況です。

フィルター

保留中の結果を自動判定

判定を変更

削除

棚卸しを完了

(1-65/65)

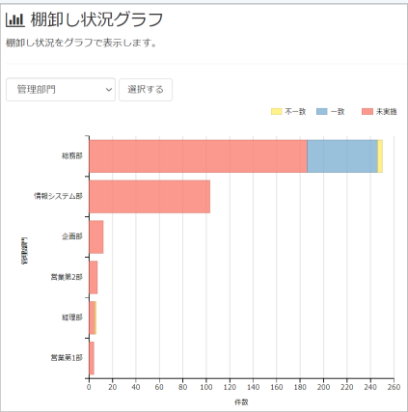
≡

	判定	突合結果	読み取り日付	読み取り担当者	読み取り端末	管理番号	資産名	利用状況	読み取り利
☐	保留	一致	2023-08-16 15:57:55	担当者A	iOS	00000001	パソコン CF-NX2	利用中	利用中
☐	保留	不一致	2023-08-16 15:57:54	担当者A	iOS	00000002	パソコン CF-NX2	利用中	利用中
☐	保留	不一致	2023-08-16 15:57:54	担当者A	iOS	00000003	パソコン CF-NX2	利用中	利用中
☐	保留	一致	2023-08-16 15:57:55	担当者A	iOS	00000004	パソコン CF-NX2	利用中	利用中
☐	保留	不一致	2023-08-16 15:57:55	担当者A	iOS	00000005	空調設備	利用中	利用中
☐	保留	一致	2023-08-16 15:57:54	担当者A	iOS	00000006	トヨヌカローフ 品 5 5 な 9 9	利用中	利用中
☐	保留	一致	2023-08-16 15:57:53	担当者A	iOS	00000007	トヨヌカローフ 品 5 5 お 9 9	利用中	利用中
☐	保留	不一致	2023-08-16 15:57:54	担当者A	iOS	00000008	トヨヌカローフ 品 4 5 お 9 9	遊休中	利用中
☐	保留	一致	2023-08-16 15:57:53	担当者A	iOS	00000009	トヨヌカローフ 品 4 4 し 9 9	利用中	利用中
☐	保留	一致	2023-08-16 15:57:55	担当者A	iOS	00000010	トヨヌカローフ 品 4 4 た 9 9	利用中	利用中
☐	保留	一致	2023-08-16 15:57:54	担当者A	iOS	00000011	マシダファミリマ 品 5 5 か 9 9	利用中	利用中
☐	保留	一致	2023-08-16 15:57:54	担当者A	iOS	00000012	応接セット	利用中	利用中

「≡」からCSVエクスポートが可能です。

建物(棚卸し前)	建物(棚卸し後)
東京本社	東京本社
大阪本社	東京本社
東京本社	東京本社

台帳情報(棚卸し前)と実施場所(棚卸し後)が異なる場合、不一致として差異が緑色でハイライト表示されます。
※棚卸し中はスマホ画面からも差異情報を確認できます。

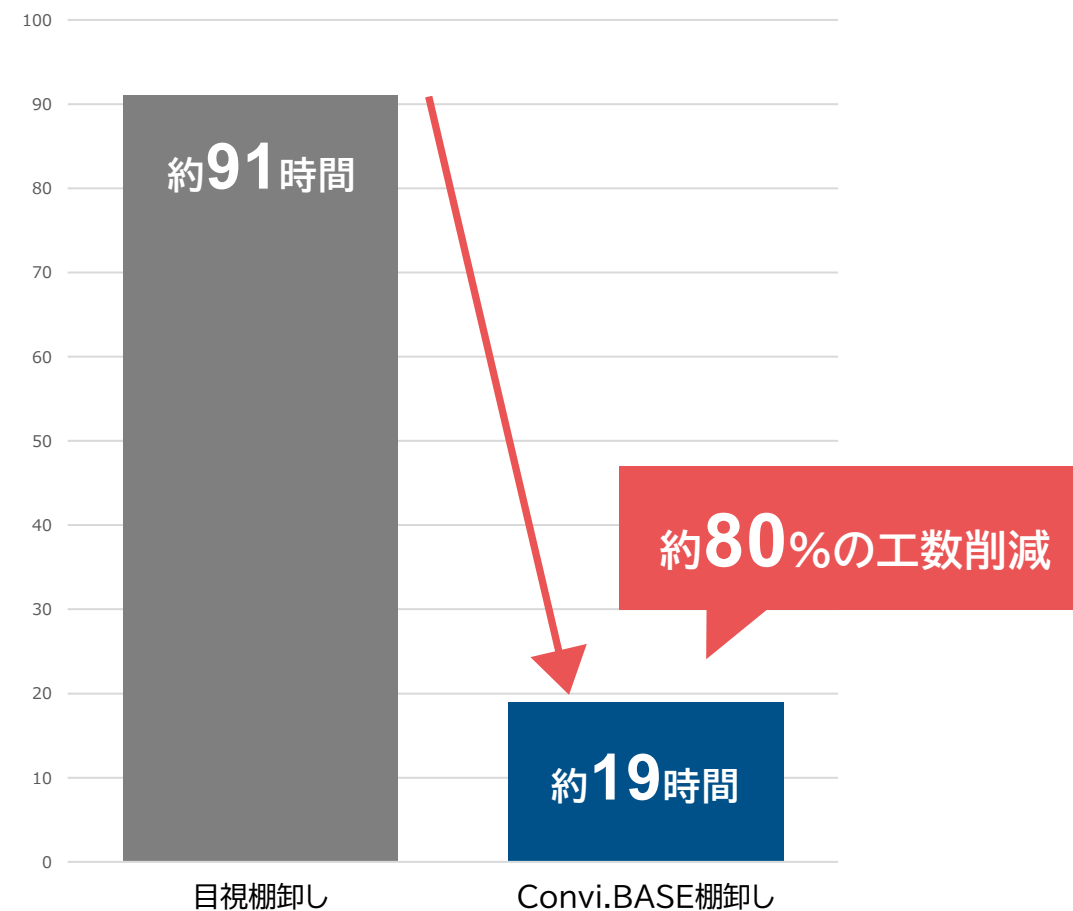


色分けされた帯を押すと、棚卸し状況グラフを確認できます。
※拠点や部門など、管理項目ごとに確認できます。

Convi.BASE導入による棚卸し工数削減効果（シミュレーション）

従来の「Excelや紙による目視の棚卸し」から「Convi.BASE」へ移行した場合の、業務時間の短縮効果です。

1	棚卸し (現物確認)	約83時間	>>	約17時間
2	棚卸し結果の集計	約4時間	>>	約1分
3	既存データとの 差異確認	約3時間	>>	約2時間
4	データの更新	約1時間	>>	約1分



(参考) 棚卸しをさらに効率化したい方へ：ICタグ(RFID)での一括棚卸し

ICタグを利用することで、より効率的な棚卸しを実現できます。

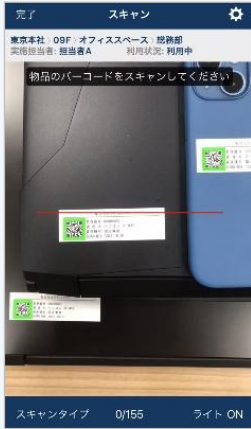
バーコード・QRコードの場合



スキャン画面内にバーコード・QRコードが映り込むようにカメラを調整し、1つずつ管理ラベルをスキャン(QRコードは4つまで同時スキャンが可能)



単品スキャン



同時スキャン

※AndroidアプリはQRコードのみ対応。

ICタグの場合



RFIDハンディリーダーの電波圏内にあるICタグを一括スキャン。物品が見当たらない場合は探索することも可能。



ICタグ棚卸しイメージ



ICタグ探索画面

※ICタグのスキャンはiOSデバイスとBluetooth接続する専用のRFIDハンディリーダーが必要です。

！ 在庫数量の棚卸しは「数量管理オプション」のご契約が必要です。
詳細はお問い合わせください。

Convi.BASEが選ばれ続ける最大の理由は、あらゆる物品管理業務に対応できる「柔軟性」です。

お客様の現在の運用をそのままシステム化できるか、実際の画面をお見せしながら丁寧にご案内いたします。
「こんな運用はできる？」といった、ちょっとした疑問から、まずはお気軽にご相談ください。

オンライン無料デモを申し込む

- ✔ デモ画面を見ながら機能の概要を知りたい
- ✔ 自社の運用を変えずに運用できるか確かめたい
- ✔ 具体的な機能の組み合わせや費用感が知りたい
- ✔ 他社がどのように運用しているか事例を聞きたい
- ✔ 「何から始めるべきか」初歩から相談したい
- ✔ ラベルの発行や貼り付けの代行について聞きたい



お問い合わせ

株式会社コンビベース
営業部 マーケティンググループ

電話

03-5643-6743

メール

cb-info@convibase.co.jp